

# 予算等審査 特別委員会



予算等審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長多田勲議員、副委員長照井文雄議員）は、条例9件、予算15件、その他8件について審議を行いました。

今委員会では、施策全般にわたり活発な質疑を交わしました。その結果、全32議案を原案のとおり可決しました。

## これからの交通対策 市の考えは

**問** 現在の総合交通対策は、路線バスが廃止になったエリアをデマンドバスで補っている。小さな拠点においても交通弱者を補うための施策が求められているが、各地区で有償運送許可を取得してほしいということか。

**答** その通りである。今年度からすべての地区センターが指定管理等となるが、取り組ん

でほしい事業のひとつとして地域交通事業への取り組みも入れている。地域がその体制づくりをしてほしい。

**問** 地域交通も大切だが、人の命を運ぶというリスクもある。市内交通事業者との協議も必要ではないか。

**答** 必要と感じている。人口減少社会の交通対策を進めていく。

## ふるさとの森を育み木と暮らす まち条例（略称：ふるさとの森条例）

### 【目的】

川上から川下まで一貫した、再造林や除間伐、木材の地産地消の考えを取り入れ、遠野産材、遠野産材製品の利用促進につながる基本的な事項を定めた条例。

この条例により、当該施策を総合的に推進し、市内の林業、木材産業の持続的な発展、地域経済の活性化、森林が持つ多面的機能の発揮を目指す。

## 本市の豊かな自然の有効活用を図る ふるさとの森条例整備

**問** 市外の業者が市内から木材を運んで木質バイオマス発電を行っている。市内から運ぶ量を制限する必要があるのではないか。

**答** 残材を使って発電を行うというのが本来の趣旨であるが現状は違う。山を守るために今回の条例を提案してい

る。

**問** 100年後という遠野の森林産業をゴールとした計画が必要だと思うが。

**答** 現在の計画は10年後のことを考えながらやっている。100年先は見えていない。木材は伐期を迎えるまでに50年かかるのでそれを見越していかなくてはならない。しかしながら将来的な需要が違う可能性がある。林業は先の長いモノなので、長期的な視点

## 救急体制の充実へ

**問** 今回の高規格救急車の購入により市内で何台所有することになるか。

**答** 遠野消防署3台、



遠野消防署の高規格救急車  
排気量が大きく室内で救急隊員が立ったまま処置ができる広さを有している

宮守出張所1台、全部で4台となる。

**問** 現在遠野消防署は2台体制であるが、不足しているのか。

**答** 医療機関から市外への搬送依頼が、年約300件ある。今回1台増となって、救急業

務が充実する。

**問** 宮守出張所は1台で救急業務は足りているのか。

**答** 足りない時は、遠野消防署の車両で対応する。

**問** 契約方法は、なぜ随意契約なのか。

**答** 2種類の高規格救急車があるが、救急隊員がより働きやすい後部ドアの広い車種にした。その車種を取り扱っている業者は1者のみで、随意契約とした。

## 介護サービス 利用者支援事業

**問** 人材確保の状況は。

**答** 介護現場のみならず、あらゆる現場で人材が不足している。遠野高等職業訓練校で行う介護職員等初任者研修の支援の一環で講師を派遣している。魅力と理解に繋げるため、小中学校では施設見学などで福祉教育を取り入れている。また、外国人材の受

入れや奨学金返還支援補助金の支援制度もある。さらに、市内介護職員が主体となり、情報交換、キャリア教育の企画実施をしている。多様な方法で人材確保に取り組んでいく。

**問** 市内特養老人施設への入所待機や市外の施設へ入所する様子もあるが、支援や対策が必要ではないか。

**答** 住み慣れた地域の施設利用を望む気持ちは、十分に理解している。

対策として、国の基準を満たす特養老人施設の新設検討することは、介護人材の不足している現状では難しい。

**問** 新たな介護施設等の計画は。

**答** 介護事業者への意向調査で、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）と地域密着型通所介護を新設したい旨の回答があった。

遠野ハートフルプラン2021に盛り込み整備を進める。

に配慮し経済についてもバランスを取りながら進めたい。

## 木の温もりに触れる 児童用の木製机と椅子を整備

**問** 事業の内容は。

**答** 小中学校の机・椅子の木製整備は平成13年度から継続しているが、今回の条例制定にあわせ林業振興事業に位置づける。

令和3年度は、財源に森林環境譲与税を活用し、遠野小学校の未了であった44組の整備と青笹・宮守・達首部の3小学校289組の更新を予定。19年の経過のなかで傷みが目立ちはじめている。年次更新で対応したい。

**問** 期待する効果は。

**答** 木の特性を伝える直接的な教材である。また、木にはストレスの緩和や集中力を高める効果も認められている。ささくれる、重い、高価格などスティール製と比べ様々な指摘も承知しているが、木

材で学習環境を整えるメリットが大きいと考

地球環境問題や地域を学ぶ授業のなかで木材を使うことの良さを

実感させながら、循環型社会の担い手を育てていきたい。



森林資源の循環利用のイメージ（林野庁のHPより）